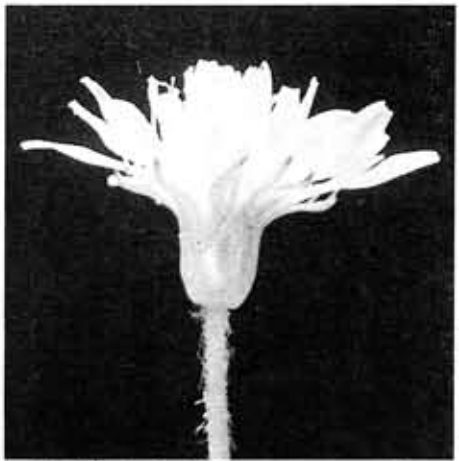


まちのうごき

(6月1日現在)	(5月中)	
世帯数 17,020世帯	生まれた人 54人	
人口 53,258人	亡くなった人 17人	
男 26,209人	転入した人 266人	
女 27,049人	転出した人 238人	

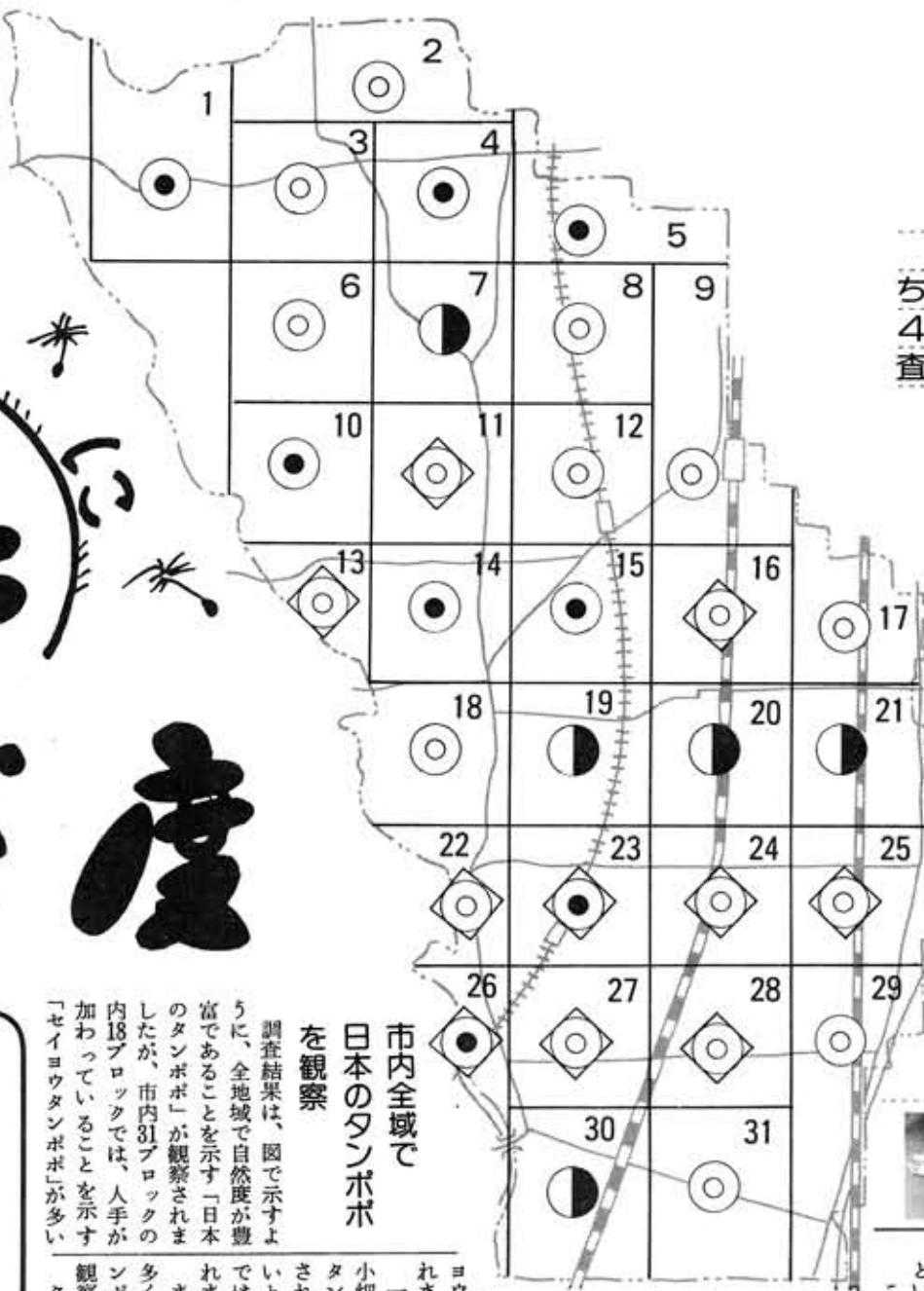
### タンポポの分布 調査結果まとまる



カンサイタンポポ ー日本のタンポポー



セイヨウタンポポ ー外来のタンポポー



タンポポの分布を調べて私たちの周りの自然度を計ろうと4月1日から5月5日までの調査期間に、家族、友人、学生など756人の皆さんの協力で行った「タンポポの分布調査」結果がこのほどまとまりました。

「自然度はかなりある」の調査結果をもとに、市では今後も、環境保全に努めていきます。

#### タンポポの分布状況

- 全部日本のタンポポ
- 日本タンポポが多い
- ◐ 日本タンポポとセイヨウタンポポが半々くらい
- ◎ セイヨウタンポポが多い
- 全部セイヨウタンポポ
- ◇ シロバナタンポポがあった



シロバナタンポポ  
白色の花で、中国地方や四国では大部分がシロバナで、花の直径は4センチ以上の大形。

「あなただけの自然度」

# 自然度

#### 調査員ボイス



日本のタンポポ 守りたい  
川立 八重子さん

向日市に住んで10年になります。まだまだ自然が残って田舎風でいいなあ、なんてのんきに思っています。でも、探し始めてみると、意外と日本タンポポは限られた所だけにしかなくて、ほとんど西洋タンポポだったのにはびっくりしました。いまある日本タンポポは絶対守っていかなければならないと思います。また、生活に密着した調査があればやってみようと思います。



わが子はタンポポ博士  
小林 和子さん

明るい春の陽ざしの中

#### 市内全域で日本のタンポポを観察

調査結果は、図で示すように、全地域で自然度が豊富であることを示す「日本のタンポポ」が観察されましたが、市内31ブロックの内18ブロックでは、人手が加わっていることを示す「セイヨウタンポポ」が多い

一方、上植野地区では、小畑川に沿った地域に日本タンポポの分布が多数観察されましたが、自然度が高いとみられていた田園地帯ではそれほど分布はみられませんでした。また、中国地方や四国で多くみられる「シロバナタンポポ」が市内でも数多く観察されました。

#### 素敵なまちへ自然あふれる

このように、8平方キロメートルの小さなまち向日市には、まだまだかなりの「自然度」があることが再発見できました。しかしながら、竹林や田畑の周りにまでセイヨウタンポポが発見されていることは、都市化がそこまで進んできていることも認めなければなりません。

という結果となりました。これを地域的にみてみると、物集女地区では西ノ岡丘陵の竹林や田畑にはかなりの日本のタンポポがみられましたが、住宅化が進む地区では、セイヨウタンポポの分布が観察されました。

#### 調査の方法

市内を500mメッシュ(500m四方のブロックに分けたもの)に区切り、その範囲に咲いているタンポポの種類、株数、場所等を調査。市内-31ブロック。



タンポポの調査

#### 日本のタンポポとセイヨウタンポポの違い

- 日本のタンポポ■  
花びらの外側の総ぼうが、花びらに添っている。昆虫が他の株から花粉を運ばないと実を結ばず、実も大きくて移動距離が短い。花の直径2~3センチで小さく、全体的に細身。
- セイヨウタンポポ■  
花びらの総ぼうが、くきに向かってそり返っている。花粉なしで実ができ、実も小さい。ヨーロッパ産の帰化植物で、生活力は強く、初春から晩秋までみかける。

